

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



SVC050-P07

会場:コンベンションホール

時間:5月23日 16:15-18:45

気象庁が全国 47 火山に整備した火山観測施設 The volcano monitoring system installed in 47 active volcanoes

気象庁地震火山部火山課 藤原善明^{1*}

Yoshiaki Fujiwara Volcanological Division, JMA^{1*}

¹ 気象庁地震火山部火山課

¹ Volcanological Division, JMA

気象庁は、火山噴火予知連絡会の火山活動評価検討会が、中長期的に噴火等が発生する可能性の検討をもとに災害軽減のために監視を強化すべき火山として 47 火山を選定したことを受けて、これらの 47 火山について 21 年度補正予算により火山観測施設の整備を進めてきたが、平成 22 年 12 月末までに整備が完了した。今回の整備では、1 つの火山について 1 点の施設整備を基本としたが、桜島、十勝岳、伊豆大島については、いっそうの監視強化を図り、3 点の施設を整備した。その結果、47 火山 53 地点に整備を行った。観測施設としては、地震計・傾斜計・空振計をセットとした火山総合観測装置、GPS 観測装置、監視カメラ（遠望カメラ、火口カメラ）を整備した。火山総合観測装置は地下 100 m を基本としてボーリングを行い、地震及び傾斜観測に適切な深度にボアホール型の機器を設置した。また、ボーリングが実施できない場所については、地上型の地震計を設置した。これらの火山観測施設によって得られたデータは気象庁における火山監視に用いるとともに、大学等研究機関とも共有して火山噴火研究の推進に供される。